

令和 3 年度 施策評価表

施策	1802	利便性の高い公共交通の確立	施策担当部等	産業振興部	部長	下玉利 輝幸
			施策担当課等	商工振興課	課長	富浦 健
施策の方針	JR大村線や路線バス等の公共交通網の整備・充実を図る。また、長崎県の空の玄関口である長崎空港の利便性向上や機能強化を推進する。					
関連するSDGsのゴール	  					

【DO（実施）】
基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	R2年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
① 鉄道の年間利用者数	千人	3,154	3,000 3,062	3,100 2,912	3,200 —	3,250 —	3,300 —	—	—
② バス1便当たりの利用者数	人	13.5	13.5 14.0	13.5 12.5	13.5 14.4	13.5 14.5	13.5 9.7	71.9%	71.9%
③ 長崎空港の年間利用者数	千人	3,008	3,000 2,997	3,100 3,158	3,200 3,269	3,300 3,159	3,340 889	26.6%	26.6%
④									
⑤									

施策達成状況の説明

- ①鉄道の年間利用者数は、3,000千人程度で横ばいで推移していたが、高速シャトルバスの影響もあり、ここ数年減少傾向にある。
 (注) H30以降の実績値はJR九州が市内全駅の数値を公表しない(大村駅と竹松駅のみ公表)ため未記載。
 ②バス1便当たりの利用者数、③長崎空港利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少した。

施策経費

(単位:千円)		R2年度 決算	R3年度 予算	R4年度 見込	特記事項
内訳	事業費	124,835	141,201	100,048	
	国庫支出金	3,162	6,277	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	402	437	437	
	一般財源	121,271	134,487	99,611	
	人件費	10,976	17,006	—	
	フルコスト	135,811	158,207	—	

施策の概要

180201	JR大村線の機能充実	九州新幹線西九州ルートの開業を踏まえ、JR大村線の新駅設置等を進めるとともに、新幹線との接続を考慮したダイヤ編成や増便等について関係機関に働きかけを行います。
180202	バス路線の再構築	通勤・通学や通院、買物など、市民の日常的な移動を支える効率的で利便性の高いバス路線の再編を図るため、ネットワーク化やダイヤ等の見直しに取り組みます。 また、JR大村駅や新幹線新大村駅(仮称)と路線バス等との接続を図ります。 路線バス等の既存の公共交通機関でカバーできない交通需要に対応するため、コミュニティバスや乗合タクシーなどを活用したデマンド型交通の導入について検討を進めます。
180203	長崎空港の利便性向上及び機能強化	長崎空港の利便性向上や機能強化を図るため、県や関係団体と連携し、国内線・国際線の定期路線の増設や増便、チャーター便の誘致、貨物輸送の強化などを推進するとともに、長崎空港の24時間化の実現を目指します。

【CHECK（評価）施策担当部長】

<p>施策を達成する上での問題点・課題</p>	<p>○JR大村線の機能充実 高速シャトルバス運行の影響に加え、新型コロナウイルス感染の影響により利用者数は減少した。その点を踏まえ、今後は利用者数の増加対策や、バリアフリー化などの更なる利便性向上のため、県等を通じて事業者に対し、要望や協議を行う。</p> <p>○バス路線の再構築 自家用車の普及に加え、新型コロナウイルス感染の影響により路線バスの利用は低下している。大村市地域公共交通再編実施計画に基づき、利便性の高い公共交通ネットワークの構築を図る必要がある。</p> <p>○長崎空港の利便性向上及び機能強化 平成30年度の利用者数は過去最高となり順調に推移していたが、昨年度は新型コロナウイルス感染の影響により大きく減少に転じた。今後は、コロナ収束を見据え県と連携し、利用者の利便性向上のため、空港の24時間化、コンセッション方式による運営民営化の実現に向けて協力していく必要がある。</p>
-------------------------	---

【ACTION（改善・改革）】

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方</p>	<p>○JR大村線の機能充実 令和4年の新幹線開業に伴い、在来線も新大村駅や車両基地駅が新設されることを踏まえながら県等を通じて要望を行い、他の交通機関とのスムーズな接続により、利便性を向上させ機能充実を図る。</p> <p>○バス路線の再構築 令和2年3月に策定した大村市地域公共交通再編実施計画に基づき、幹線バスや支線バス等の見直しを行い、より利便性が高く効率の良いバス路線再編を図る。</p> <p>○長崎空港の利便性向上及び機能強化 新型コロナウイルス感染の影響により利用者が減少しているが、新型コロナウイルスの収束後を見据えて、更なる利用促進を図るため、空港の機能強化や利便性の向上に繋がる取組を県や国に要望する。</p>
---	---

令和4年度新規事業

事業名（仮称）	担当課	R4年度見込	対象・事業概要など
		事業費（千円）	
1			
2			
3			
4			
5			
		0	